# 始動！丹波篠山「鯖街道PR」事業　～若狭鯖街道・小浜視察～

平成29年度の一大事業として、現在、部会幹事会で検討をしている「（仮称）鯖街道ＰＲ事業」。古くから篠山で、お祭りなどで「鯖寿司」を食べる習慣は、若狭からの鯖街道が遠く篠山まで伸びてきていたことの証であり、歴史ある篠山の食文化のひとつです。

ところが、意外にこの歴史的文化をＰＲした事業は少ないため、小浜市が日本遺産に認定され、篠山市と繋がりが出来たことを機に、鯖街道の歴史と食文化を情報発信する事業を、11月を目途に実施します。

現在、挙がっている企画案は、プレイベントとして行う「鯖街道ウォーキング」と、鯖寿司の食べ比べなどを行う「鯖フェア」が有力候補。

とはいえ、全く予備知識がなく手探り状態での企画：まずは実際の鯖街道を走ってみて、小浜市と接触することが必要！ということで、小浜市が3月8日を「サバの日」として夕方からイベントを開催されているとの情報を得て、当日の午後から幹事有志で出発。

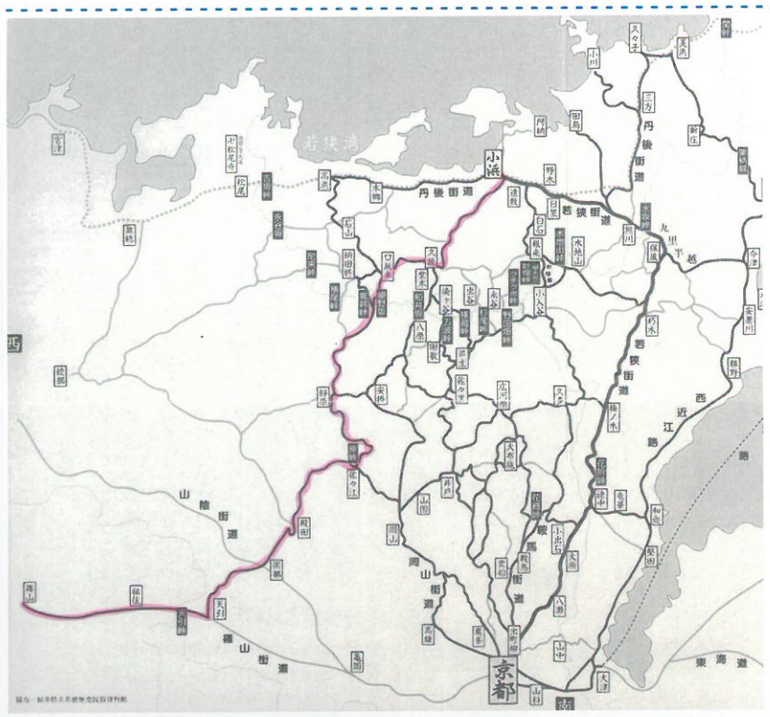
雪降る中、車1台の乗り込み、まずは篠山から小浜まで、鯖街道を逆に辿ることに。

歩くとノンストップでも約27時間は掛かる計算なので、途中の休憩・交代場所や危険個所など、何度も車を停めて確認しながらの道程。全く灯りが無い場所や峠も多く、夜間の徒歩移動は危険だと判明、実際のウォーキングは、少なくとも2日以上の時間が掛かりそうです。時間的に厳しいため、マラソンや自転車も取り入れては？という意見も出ました。そうして、京都府南丹市の園部・美山を越えて、福井県おおい町の名田庄村を通過して、約3時間掛け、小浜市へ到着しました。

まずは鯖街道起点と鯖街道資料館がある「いずみ町商店街」へ直行。正直、シャッター通りの寂れた感じで、資料館もこじんまりとしたものでしたが、鯖街道の歴史や、確かに篠山まで鯖街道が伸びていた事が確認できました。

次に、イベント「鯖ん博SABA EXPO」の会場になっている「まちの駅旭座」に移動。

ここは昔の芝居小屋を移築復元して、まちの中心的施設として活用されている施設。平日の夕方、しかも気温も寒い日ということもあり、来場者はこちらも寂しい感じは否めませんでしたが、建物内では、旭座がオープンして、来館者20万人突破記念セレモニーや福井県立大学の1回生による「ツーリズムとまちづくり」の研究発表が行われていました。




小浜市では、昨年「鯖復活プロジェクト」を立ち上げて、ブランド鯖の養殖や、鯖街道を軸とした観光施策に力を入れ、この3月3日には「鯖を愛するまち宣言」をされたとの事。

その後は、トークショーやカラオケ大会が催されたようですが、カラオケが始まる前に我々は退散し、小浜市役所の産業部商工観光課で日本遺産活用グループリーダーの方と面談。小浜市でも今秋に鯖のイベントを検討されるようで、お互いの取り組みへの協力や小浜市との連携について、意見を交換することができ、有意義な視察となりました。

まだ「鯖街道ＰＲ事業」は企画検討段階ではありますが、今後、鯖街道や鯖寿司についての調査や準備そして本番と進めていくにあたり、多くの部会員皆様の力なくしては成功しません。何卒、絶大なご協力とご支援をお願い致します。

## 健脚自慢の会員求む！

今年11月予定の鯖街道ウォーキングで、小浜～篠山の鯖街道を一緒に踏破しませんか？

約１１０㎞を４区間に分け、１区間約30㎞を歩く（もしくは走る）企画を検討中です。

「よし！鯖街道ＰＲのため、一緒に踏破してやろう」という方！詳細は未定ですが、少なくとも10名程度の方が必要です。

是非、名乗りを挙げてください！

お待ちしています！

**エントリー希望やお問い合わせは事務局まで**

お聞かせください！

## 商NOW「ご意見頂戴」コーナー

商業観光部会では、今後も経営に役立つ研修や講習会を企画していきます。
そこで「こんな講習会があったら受講してみたい！」「この人の話が聞いてみたい！」などのご要望、また実施して欲しい事業のアイデアがございましたら、参考にしたいと思います。
また、毎年開催する部会懇談で披露できる特技等をお持ちの店主情報（楽器演奏やジャグリング、漫才など、何でもＯＫ！是非、意外な一面を見せて下さい！）などもお寄せください。下記のＦＡＸまでお待ちしています！

ご記入欄

FAX返信先：079-552-2531（篠山市商工会 商業観光部会 事務局）